

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立三郷高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	生徒・保護者アンケートを実施し、学校に寄せられる期待やニーズを把握している。学校の現状や課題などを踏まえて適切に設定されているが、一人一人の進路希望に合わせた科目選択を目指した教育課程の変更に伴い、見直しを検討して、次のステージに向けた学校像を模索していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	地域の期待、生徒の学力や進路の実態を踏まえ、重点目標が設定されている。長らく同様の目標が続きやや網羅的となっているので、中期的な視点に立ち、課題の解決に向けて、更に重点化した内容にすることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学年のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。中間進捗の把握を丁寧に行っているため、学校全体のシートの取組に生かして更に実効性あるものにするなど、学校自己評価の運営体制について工夫ができると更に良い。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校全体の目標に基づいて、分掌・学年が目標を設定し、教育活動に取り組んでいる。全体的には方策が前年踏襲型となっているので、誰が、何を、いつまでに、どの程度行うといった視点から、より具体的なものにするとともに、スパイラルアップを図り、計画的に実施することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が教職員の教育活動状況を把握し、学校の課題等に関する教職員の共通理解を図っている。教職員一人一人を的確に生かし組織力を高めようとする校長の意欲が感じられた。更に共通理解を深め、学校・生徒・保護者が一体となった「チーム三郷」として力を統合し、目標の達成を目指すことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	年度評価や学校関係者評価などを基に、取り組むべき課題や改善策が示されている。学校自己評価システムを有効に活用し、前年度の課題を次年度のより具体的な取組につなげ更にPDCAサイクルを回していただきたい。	
特記事項			